

天竺之舞、一上三

天竺之舞



WARNING  
OVER  
成年 (18)  
コミック



# 高井美姫ですよ

これにちは、たかいびきの世界へ  
ようこそ。ここにはおんなのこしか  
いません。背景もありません。

小劇場のお芝居か、茶室での  
おもてなしをご想像ください。

高井は狭いところが大好きです。

殺風景な部屋で、いつまでも一人で  
閉じこもっていても全然苦にないません。

それでいて満員電車や都会の喧騒も  
大好き。渋谷よりも西新宿が好き。

銀座は苦手。浅草は好き。

美味しい食べ物は苦手。空腹より嫌いな  
物食べる方が苦痛。ご馳走されるのは嫌。

約束は嫌い。破ると死んじゃうから。

…おんなのこは好き。えっち好き。

夢見るのが好き、見ないで寝るのも好き。

白いご飯が好き。讃岐うどんが好き。

朝日が好き。でも朝は寝るのが好き。

漫画は好き。描くのが好き。たぶん。

高井美姫



よかった…  
心配して  
きてくれたのね…

あ…

お…おねえさま！

たすかったわ…

ちよつと  
身動きがとれなくて  
困ってたの



またまた

06

高井美姫





…いつたい  
誰がこんなことを

…大丈夫よ…



大丈夫なはずが  
ないじゃ…

…ただちょっと

二人がかりで  
かわるがわるって  
いうのは  
疲れちゃうわね…

さあ、はやく  
病院に  
行きましょ

平気よ…  
それより

こんなことが  
公になることが  
いやだわ…それより

ここを見て…  
少しだけ  
ひりひりするの…

あ…

あなたが診て  
くれるかしら…

ちゅ





どう……  
奥のほうか



は……はい

赤く腫れて  
いるんじや  
ないかしら……

ひひひ

ひひひ



はい……この  
奥のほう……  
ですね

ちゅ



指じゃ痛いわ……

やめてへ  
ろで……な

痛くは…  
ないですか

大丈夫…

舌が  
やわらかくて…  
いいきもち

おねえさまの  
味がします

ちゅっ  
ちゅっ  
ちゅっ

んんっ

あ…そこイイ  
そこが…イイの





お…  
おねえさま…

ちがうわ…  
少し上手すぎたのよ



よかったわ  
あなたは私の体を  
一番に気使ってくれたわ

おねえさま…



ん…

だから  
ごほうび

……ごめんなさい

あたしも本当は  
おねえさまのこと

まあ、  
たいへん



おねえさまの  
体に触れただけで……



……わたし  
おねえさまの  
ためなら……

とちゅとちゅ



このコの欲求は満足させてる？

まゆ



…あ

いいのよ  
こんどは私が  
してあげる番よ



そう…  
うれしいわ



はい…毎日  
おねえさまの「こ」を  
想って…

ひびひび



んんっ



どう  
されたかった？



おねえさま  
そこは...

あっ

わたしも...  
わたしにも  
ささせて...  
くださいっ

そう...  
あなたも  
してくれるの？

だったらいい手が  
あるわよ



あ...  
おねえさまっ!

くっ

ほら  
こうしたら  
ぶたりにき...ね



本当ね...

わたしに触れた  
だけでもう...  
こんなに



は...はい



この「  
結構長持ちする  
タイプなのね…

それじゃ…

こんなのは  
どうかしら

あっあ

何をされてるか  
わからない？

それは…  
一体…？

これ  
きききんへ  
ないかしら…

ああ……

お……おねえさま  
わたし……

き……き……  
……き……

あっ

あん

こんなに  
いっぱい……

……き……

今…わたし

おねえさまの  
…ムネに…

そうよ  
あなたこんな  
射精したんだから



それなのに…  
全然収まる  
様子がないのね

あん



ほら…

すんなり  
入っちゃおう…

ふあああ

わかる？  
あなたのでわたしが  
いっぱいなの

わたしが…  
おねえさまの…  
ナカに…？

もうわかるでしょ  
わたしのナカで  
あなたが  
暴れまわってるわ



じゃそろそろ  
いいかしら  
ふたりとも

入ってきていいわ  
いっしょに  
楽しませよう

♪  
♪  
♪  
♡

ごめんね  
こういうことなの

ね…みんな  
仲良しでしょう？

なかなか  
言い出せなくて



わたしが  
三人いっしょ  
がいいって言ったの

イヤだった  
かしら

いいえ…

そんなことは  
ありません  
おねえさまの  
言うとおりに

それじゃ二人とも  
準備ができた方から  
入ってきて

わたしのこと  
メチャメチャにして  
くれていいわよ

え…?

とっぴ

ちゅ









あ...いいわ...  
三人とも...すて...

カいっばら...  
犯して...

あたしを...  
何度もイかせて  
くれるのね...



でちやう

イク



わたりたち...

もじ...



あ...

お...おねえさま

イって…  
みんな一緒に

さうさうさう…

おねえちゃん

…んんん…

あう…んん

んんんんん





イッパツ

イッパツ...んんん



# 猫のような生活

はい、いかがでしたでしょうか？  
タマ姉三部作、これで一応完結です。

前の『たまたま』『またまた』も  
未読の方は見てやってください。

もうちょっとタマ姉描きたいから、  
次のシリーズでも描こうかな。

高井はかつて自分を『犬儒家』って

名乗っていたいしてまあが、

『猫だろう』と言われます。

まあ、犬ほど勤勉じゃないし

群れで生活しないし、一匹狼ほど

他人に嫌われてる憶えもない。

朝寝て夕方起きて、一晩中ごろごろ

オタク行動（原稿含む）してるから

やっぱり猫の生活してるんだろね。

飼い主もない、群れのボスでもない

むしろ虎のような一生が理想だけと、

やっぱり冬はコタツでヌクヌク

したいよね。雪が降ったら飼って。

高井美姫

# またまた

発行

高井美姫 (通算五号)

発行日

2005年10月23日

著者

高井美姫

印刷

T-WAVE

連絡先

〒211-0062

1-3-11-203

折原方

『高井美姫』

e-mail

takaibiki-bousou@v07.itscom.net





takaibiki.2005